

「島根県食育推進計画第四次計画」(案) に対していただいたご意見とご意見に対する考え方

	ご意見	ご意見に対する考え方
1	<p>フランスに在住していた間、フランスでも毎年食育週間があり、島根の食育推進事業と同様のことが行われていました。</p> <p>その中で一つ日本にはなくて毎年楽しみにしていたイベントがありました。このようなイベントが食育に関連して期間限定であると、地元の生産者、飲食店の助けにもなり、住民にとっても楽しいのではないかと思います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎年地元の農水産品（できれば有機）を2～3品とりあげてその年のテーマとする。</li> <li>・その食品を使って、飲食店は新しいメニューを考え、食育週間中だけ提供する。</li> <li>・飲食店は事前にチャレンジ登録をし、商工会などから広報してもらう。</li> <li>・客はアンケートに答える。</li> </ul> <p>(アンケートに答えた人はくじ引きで何か賞品とか割引券とかもらえるというようなことがあってもいいと思います。)</p>	<p>今後の食育を推進する際の取組の参考とさせていただきます。</p>
2	<p>もっと、地元の物を大事にする、地元の食材を食べていくことを打ち出すべきではないか。</p>	<p>個別の施策において、「IV.しまねの食育の推進施策」2(2)⑧⑨及び(3)⑫において地場産物の活用や理解促進について記載し、推進することとしています。</p> <p>[該当ページ] P24 P27 P30</p>
3	<p>食育推進に向けて重点施策の件 若い世代への食育の推進をどのように取り組むかを具体的に知らず(明記)必要性があると思います。</p>	<p>重点施策は基本理念に基づき、今後の食育の取組について重点的な方向性を示すものです。具体的な取組については、P24以降の個別の施策において記載しています。</p>
4	<p>県民一人ひとりの実践に向けて 何気なく読んでしまう項目に過ぎない。いかに実践できるか、できたかを評価するように仕組めることが大切と思われます。(職場、家族、グループ等)</p>	<p>P3「県民一人一人の実践に向けて」は、県民の皆様の食育の実践に向けて啓発のため掲載しています。個々の内容は、P24以降の個別の施策に繋がるものであるため、取組の評価は、評価指標により評価を行うほか、食育の取組についても事業評価を行い、推進しています。</p>
5	<p>朝食の欠食について 「毎朝おにぎり1個食べる」推進に取り組んでは、夜作っておく、購入しておく。</p>	<p>今後の食育を推進する際の取組の参考とさせていただきます。</p>

	ご意見	ご意見に対する考え方
6	野菜摂取に向けて 野菜の高騰の点からも 350g の現状維持が難しいこともありますが、食品ロスに向けて野菜を丸ごと食べきるレシピや、エコ料理のレシピなどの提供もどうでしょうか。	今後の食育を推進する際の取組の参考とさせていただきます。
7	塩分摂取に関する意識 食生活の中での減塩できる方法の資料はいろいろ提供されていますが、もっと重要視して、職場などを通して今後は結果を出すことが必要と思われます。外食、中食の過剰塩分を減塩にする方法や提供。	減塩に関する情報発信だけでなく、外食で提供されるメニューが減塩になるなどの食環境の整備を進めていくこととしています。
8	関係団体との連携を図り、すそ野を広げて健康寿命延伸に取り組むことが大切と思われます。分野が違うから、係が違うからではなく健康の意味をしっかりと把握し、誰もが「めざしてます健康寿命日本一」の缶バッジを胸につけ取り組みことで実践力、地域力に繋がると思われます。「私たちの健康は私たちの手で」。	引き続き食育関係団体との連携を図り、地域で広く取組が進むよう働きかけていきます。